

活動報告書

報告者氏名：高津 恵子 所属：県立相模原養護学校高等部 記録日： 2013年 2月 26日

【対象児（群）の情報】

- 学年：高等部3年
- 障害名：知的障がい
- 障害と困難の内容

・発語はなく、感覚運動が優位である。音が鳴るものに興味がある。目と手の協応は難しく、具体物を容器の中に入れることはできないが、興味のあるもの（スーパーの袋やタオル類）を引き出すことはできる。

【活動目的】

- 当初のねらい

・iPad のアプリで My baby firework を用いて、円の模様をタッチすると別の模様が変わるという因果関係を理解し、目と手の協応をはかることをねらいとした。

- ・視覚・聴覚への刺激を楽しみ、

- 実施期間

- ・2012年に7月に2回、9月に2回、2013年1月に2回

- 実施者と対象児の関係

- ・担任とクラスメイト

【活動内容と対象児（群）の変化】

- 対象児（群）の事前の状況

・音が鳴るものに興味があり、ミニキーボードに内蔵されているメロディを耳にあてて聞きながら歩き回るが、1～2分で落としてしまう。鈴やタンバリンも好きだが、口の中に入れて音を鳴らしながら振動を楽しむことが多い。

- 活動の具体的内容

- ・アプリ『My baby firework』を活用して、円の模様にタッチして別の模様が変わることに気づく。

- 対象児（群）の事後の変化

・今までテレビなどの画面に注目することがなかったが、iPad の画面に注目し、円の模様が回る様子を5分ほど見ていた。本人の顔が画面に映っていたので、顔を見ていることも考えられたため、背景の色を黒から白に変えた。若干、顔が映っていたが、画面に5分ほど注目していたため円の模様を注視していたと考えられる。また、音声を消したところ画面に1分ほど注目していた。

【報告者の気づきとエビデンス】

○主観的気づき エピソード

- ・背景が黒・白同様に5分ほど画面に注目した後、iPadを耳にあててメロディを聴いていた。今まで楽器を手にしても、1分ほどで落としていたことが多く、このアプリに興味をひいたようである。
- ・本人の手を持って画面の円をタッチさせて、模様が変わるようにしたが、自分から円にタッチすることはなかった。したがって、この生徒にとって、このアプリは目と手の協応を図る課題にはならなかった。
- ・このアプリへの興味が高いので、「iPadをください」という場面を設定し、「要求」のコミュニケーションにつなげていくことができるのではないかと考える。

